

ウェルフェア イズ ラヴ

2024年11月7日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

先日の新聞に、「2023年の着床前診断の審査結果が公表された」という記事が掲載されていました。

2023年は、審査件数 72 例、承認件数 58 例、不承認件数 3 例、審査継続中・取り下げ 11 例という結果のようです。

当事業所代表自身が障害当事者であるということも多分に影響していると思いますが、当事業所としては着床前診断事態にあまり良い印象を持ってはいません。どうしても、『命の選別』が起こってしまうのではないかという懸念が拭えないのです。この制度が無くなれば良いとまでは申しませんが、せめて「検査を受けることは自由だけれど、中絶は認めない。」という制度にできないものかと思います。

様々な福祉制度等を最大限活用することによって、本人や家族の負担を軽減することも可能ですし、専門の療育を受けることも出来る。もし、どうしても障害のある子どもを育てる気持ちになれないというのなら、乳児院等に預けるとか、専門里親に委託するという方法もあり得ます。もし、当事業所が相談を受けたとしたら、様々な福祉制度等を活用しながら保護者の方が養育することを前提としつつも、場合によっては「産むことと育てることを分けて考える」、「産むけれど（自分たちでは）育てない」という選択肢があることも含めて、きっちりとお伝えしたいと思いますし、社会福祉士相談所としてその責任があると感じております。

スタッフのヒトリゴト

先日、当事業所代表の個人 FB に、10 年程前に仕事で関わりがあった方から、友達リクエストが送られてきました。

その方のお名前に覚えがあったので、「もしや…」と思いましたが、丁寧にメッセージも添えて下さり、（面識もないのにメッセージも添えずリクエストだけしてくる、少々無礼な方も多い…。）やはり私が思っていた方だったので、喜んで承認させて頂きました。ちょっぴり驚かされつつの、ウレシイ「再会」でした。

♥LOVE のラブラブな実践♥

先日の新聞に、「介護離職の防止」に関する記事が掲載されていました。

高齢者人口の増大と生産年齢人口の減少が同時に進行している日本において、本当に大切なことだと思いますし、介護離職をきっかけに（介護が終了しても）（再び）仕事に就くことが（年齢・体力・気力面等様々な要因で）難しく、結果的にひきこもり状態になってしまう場合もあるので、そういった事態を防ぐ意味でも、介護離職の防止は重要なことだと感じます。

介護離職の防止においては、各企業等が自社の社内制度を整えることが重要ですが、その一環として介護支援専門員や社会福祉士等、外部組織の専門家と企業や従業員が繋がるという方法もあります。

当事業所ももしもそのようなご相談を頂ければ、勿論積極的に対応させて頂きたいと思います。当事業所は、福祉に関する様々な相談を個人の方は勿論、企業や団体の方々からのご相談にも対応させて頂きますので、どうぞ、お気軽にご相談下さいませ。

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市 生涯学習課が、「知的障がい者青年教室」（スキップクラブ）のボランティアを募集しております。ちなみに、当事業所代表もこれまで 5 年程ボランティアとして関わらせて頂いており、今年度も継続して関わらせて頂いております。

詳細はホームページをご確認下さいませ。

[「高松市知的障がい者青年教室（愛称：スキップクラブ）」ボランティア募集について | 高松市 \(city.takamatsu.kagawa.jp\)](http://city.takamatsu.kagawa.jp)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♥